資料4

工業標準等調査審議報告書（制定・改正）

制定・改正の別
制定

工業標準案(制定)・日本工業規格の改正案(改正)の番号及び名称
規格番号　JIS T8124-1
規格名称　固体粉じんに対する防護服－第１部:浮遊固体粉じんに対する微粒子防護用密閉服（タイプ５化学防護服）の性能要求事項
改正の場合、現行規格名称
[団体規格を基礎とした場合は団体規格番号及び名称]

主務大臣
経済産業大臣及び厚生労働大臣の共管

制定・改正の内容等に関する事項
・制定・改正の必要性及び期待効果
この規格は、浮遊固体粉じんに対する防護服完成品の性能評価について規定するものである。微粒子防護用密閉服としての必要性能を、漏れ率の程度により合格／不合格で判定し評価する。２００５年に改正されたＪＩＳＴ８１１５における分類で微粒子防護用密閉服（タイプ５）がこの防護服に該当する。
この規格を制定することにより、ＪＩＳＴ８１１５で示す微粒子防護用密閉服（タイプ５）の性能要求事項が詳細に規定され、ＪＩＳＴ８１１５を補完することになる。この規格によって、浮遊固体粉じんに対する防護服完成品の性能を国際レベルで相互比較することができるようになり、生産者のみならず規制当局、利用者の利便性が増し、国際貿易の円滑化への寄与を含め、標準化による効果は大きいといえる。

・規定項目又は改正点
１適用範囲、２引用規格、３用語及び定義、４性能要求事項、５表示、６取扱説明書、附属書ＪＡ（参考）ＪＩＳと対応する国際規格との対比表

原案作成に関する事項
原案作成機関名　社団法人　日本保安用品協会
特定標準化機関以外
財団法人　日本規格協会
特定標準化機関以外

・原案作成区分
法１２条による

・原案作成委員会の構成表及び開催状況
別紙に記載のとおり。

日本工業標準調査会の審議に関する事項
・部会名：標準部会（部会長：二瓶好正）

・専門委員会：労働安全用具技術（専門委員会長：吉識晴夫）

・審議経過
WG 議決年月日　　年　月　日
専門委員会議決年月日　　年　月　日
部会議決年月日　　年　月　日

・審議中問題となった点

国際流通への影響に関する事項
・対応する国際規格及びそれらの規格との整合性
国際規格番号　ISO 13982-1：2004　　整合性　MOD

・既制定の類似・関連 JIS との関係
この規格は、浮遊固体粉じんに対する微粒子防護用密閉服完成品の性能評価を規定するものである。微粒子防護用密閉服としての必要性能は、漏れ率の程度により合格／不合格で判定し評価する。２００５年に改正されたＪＩＳＴ８１１５（ＩＳＯＦＤＩＳ１６６０２：２００４ＭＯＤ）における分類で、微粒子防護用密閉服（タイプ５）がこの防護服に該当する。

・関連する強制法規
名称　廃棄物焼却施設内におけるダイオキシン類ばく露防止対策について
厚生労働省労働基準局基発第４０１号の２平成１３年４月
被引用の有無　有

・関連する公共調達基準
名称　石綿粉じんへのばく露防止マニュアル建設業労働災害防止協会

・工業所有権等知的財産権
無